

3. 化学療法。

進行がんの治療に行われる。

抗がん剤どうしの組み合わせや、分子標的薬剤との組み合わせ、放射線治療との組み合わせや手術後のリンパ節転移のある患者さんに行われることが多い。また最近開発された免疫チェックポイント阻害剤による治療も行われる。



1) 抗がん剤。

シスプラチン
ゲムシタビン
ペメトレキセド
パクリタキセル
UFT等

2) 分子標的治療薬剤。

EGFR-TKI 薬剤: イレッサ、タルセバ
ベバシズマブ

3) 新しい分子標的治療薬剤。

ALK 阻害薬: セリチニブ、クリゾチニブ
第2世代経口 EGFR-TKI 治療薬剤: アファチニブ、ダコニチニブ
第3世代分子標的治療剤: AZ9291: タグリッソ

4) 免疫治療薬。

抗 PD-1 抗体治療薬 (ニボルマブ): オブジーボ

EGFR-TKI 薬剤(イレッサ)による治療効果。

左レントゲン写真は治療前で右肺に広範囲の肺がん(白く雲のようになっているところ)が見られる。左写真では腫瘍の影が消えつつある。

治療前

治療後

